



## 栽培環境コースだより<シロザケ孵化放流事業>

### シロサケ孵化放流事業

◎栽培環境コースを選択した1年生で、1月7日からシロザケの管理をしました。



[温度測定]



[静かに収容]



[発眼卵]

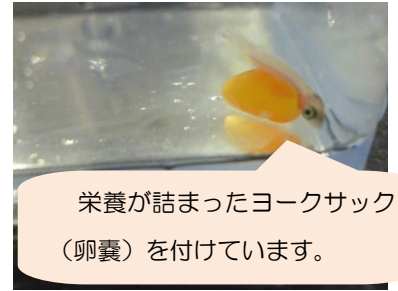
◎日直を決め、毎日交代で水温測定や死卵の除去、成長過程を観察しました。病気に弱いため、管理前には手や水温計などを消毒します。シロザケは毎日水温を測定して、これを積算すれば約480℃で孵化することが分かっています。これを孵化積算温度といいます。



[手指消毒]



[水温測定]

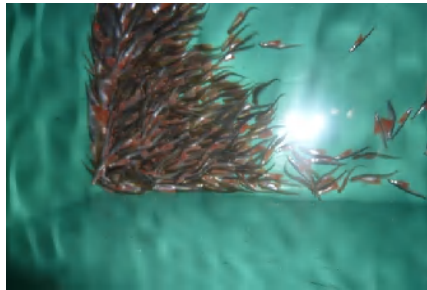


栄養が詰まったヨークサック  
(卵嚢)を付けています。

[1月9日孵化開始]



[1月29日 よく動き回るようになった]



[休日も管理]



[1月31日 プラ船から広い水槽へ移す]



◎2月4日、浮上して泳ぎ回るようになったため、給餌を開始しました。最初は餌を食べないので、よくすり潰したものを与え、餌を覚えさせます。



[川魚用の餌をすり潰している様子]

◎2月22日、この頃には給餌すると集まってくるようになり、与える餌もすり潰していません。成長とともに摂餌量も増えてきました。(給餌する餌を海産稚魚用に変えました。)

1年生の頑張りもあり、ここまでの生残率は非常に良く、順調に育っています。放流までしっかりと管理していきたいです。



[餌の計量]



[給餌]



[シロサケ摂餌]



[底面掃除]



[水温測定と観察]



[飼育記録]

◎3月15日、福知山市音無瀬橋下でシロザケ746尾を放流しました。

積算温度	成長
500℃(480℃)	孵化(ヨークサックを付けている)
700℃(900℃)	稚魚(浮上、遊泳)
1145℃(1300℃)	放流(由良川)

生残率は96%と、非常に良い結果を残せました。

(カッコ内の温度は一般的な目安です。)



[積み込み]



[放流]